

## 「二十歳の集い実行委員会との語る会」

日時：11月24日（金） 午後7時から（会 場：区役所庁議室）

### ◇観光バスの対策について

質問	回答	対応
<p>浅草小学校の前の通りを観光バスがよく通りますが、通学路であることや横には公園があり、とても危険であると考えていました。私が小学校に通っていた頃からこの話しが出ており、何度か改善を求めて区に連絡すると言った方がいたことも記憶しています。</p> <p>私も視界が悪いときに轢かれそうになった経験があり、実際に平成29年には轢かれてしまい重傷を負われた方がいました。</p> <p>現在、日中の時間に誘導員がいたり、小学校の前にある広場に柵を設置していましたが、それ以外にも何か対策はしているのでしょうか。</p> <p>また、今後はコロナ禍が落ち着いたこともあり、より観光客が増えていくと思います。それに伴い、さらに対策を講じていく予定はあるのでしょうか。</p>	<p>浅草小学校前の東参道・二天門通りでは、過去に交通事故が発生しています。そのため、地元町会や小学校および保護者の皆様にご意見を伺い、歩道の防護柵の設置や、注意喚起の看板設置、誘導警備員の増員などの対応に努めてまいりました。</p> <p>また区では、観光バスの安全で安心な来訪環境を整備し、迷惑な駐停車等の防止を図ることを目的として、平成29年に全国初となる「東京都台東区観光バスに関する条例」を制定しました。</p> <p>その中で、観光バス予約システムによる利用時間の分散化、観光バスの乗降場所の分離等により、歩行者の安全確保と良好な交通環境の整備を図っています。</p> <p>現在、コロナ禍で激減していた観光バスが回復傾向にあります。区では、今後も観光バスの来訪状況を見極めつつ、状況に応じて誘導警備員の増員を検討するなど、引き続き安全な歩行空間の確保に努めてまいります。</p>	<p>—</p>

◇隅田川花火大会について

質問	回答	対応
<p>今年は4年ぶりに隅田川花火大会が開催され、過去最多の約100万人が訪れました。コロナ以前の活気が戻ってきたことはうれしいですが、多くの問題も見受けられたと思います。</p> <p>花火大会が始まる前から浅草駅周辺は多くの人であふれかえり、普段から通学や通勤で駅を利用する人に支障があったと思います。また、警察官が出動して一方通行などのルールが設けられていましたが、設置されたフェンスを飛び越えてしまったり、ごみを放置してしまったりといった迷惑な行動がありました。</p> <p>これらの問題を改善し、来年の安全な花火大会の開催に向けての考えがありましたらお聞きしたいです。</p>	<p>今年の花火大会は4年ぶりの開催となり、そのため、様々な安全対策を講じて実施しました。しかし、混雑のため一部駅の出入口封鎖などにより、一般利用者の方にはご迷惑をお掛けしました。また、一部の観客が警察官や警備員の誘導に従わず、立ち入りを規制するフェンスバリアードを乗り越えるなどの事例がありました。</p> <p>現在、来年度の安全な花火大会の開催に向けて、警視庁や警備会社と調整を行っており、フェンスバリアードの仕様や設置場所についても検討を行っています。</p> <p>また、ごみの問題については、これまでも大会当日の深夜から早朝にかけて清掃を行っていましたが、清掃範囲や時間帯を見直すとともに、引き続きマナー啓発の活動を実施します。</p> <p>今後も、各方面との連携を図りながら、皆様に安全に楽しんでいただける花火大会となるよう、取り組みを強化してまいります。</p>	<p>—</p>

◇精神疾患を有する人への支援について

質問	回答	対応
<p>パニック障害やうつ病など、精神疾患等で困っている人に対し、区ではどのようなサポートがあるのか知りたいです。</p>	<p>こころの健康を保つためには、ひとりで問題を抱えることなく、周囲の人や医療機関に相談することが大切です。しかし、医療機関に受診することに抵抗を感じる人もいます。</p> <p>そこで、区では専門医による相談や、保健師による健康相談を実施し、必要に応じて医療につなげるなど、メンタルヘルス対策に取り組んでいます。さらに、身近な人の変化に気付ける人を増やすため、ゲートキーパー養成講座を実施しています。</p> <p>こころの不調は目に見えず、誰でも抱える可能性があります。今後、ご自身のことでお困りのことがあったり、周りに悩んでいる方がいたりしましたら、台東保健所内の保健予防課までご連絡ください。</p>	<p>—</p>

◇鶯谷駅北口周辺の路上喫煙について

質問	回答	対応
<p>飲食店での喫煙が制限されたこともあり、鶯谷駅北口周辺で路上喫煙が増えていると感じます。</p> <p>また、台東区は全体的に喫煙所が少ないように感じます。</p> <p>喫煙者と非喫煙者、両方が暮らしやすくするための対策は何かお考えでしょうか。</p>	<p>健康増進法や、東京都受動喫煙防止条例により、屋内での喫煙が原則禁止となり、区内全域において屋外での喫煙が増加しています。</p> <p>鶯谷駅周辺の路上喫煙への対策については、駅近くの鶯谷公園内にコンテナ型の公衆喫煙所を整備しています。この公衆喫煙所の整備は、区が整備をすることに加え、民間企業等に設置経費や維持管理費の助成を行い、進めています。</p> <p>また、喫煙等マナー指導員による巡回指導や、区内道路上にポイ捨て禁止を明記した「路面標示シート」の張り付けなどを行い、喫煙マナーの啓発を行っています。</p> <p>今後も喫煙する人もしない人も共存できる分煙環境の整備を図ってまいります。</p>	<p>—</p>

◇少子化対策について

質問	回答	対応
<p>区で取り組んでいる「少子化対策」についてお聞きしたいです。</p> <p>子育て支援や子供・若者向けの取り組みがあれば教えてください。</p>	<p>区では、子育てに関する不安や負担を軽減することで、安心して子供を生み、育てることが出来るまちづくりを目指しています。</p> <p>たとえば、第3子以降の子供の出生時と、小中学校入学時に祝い品を贈呈する「にぎやか家庭応援プラン」や、不妊に悩む夫婦で特定不妊治療の先進医療を受けた方への助成を行っています。</p> <p>ほかにも、健康保険証を使って医療機関を受診した際、支払う自己負担分を助成する対象を高校生年齢相当まで拡充しています。</p> <p>これらの取り組みを通じて、これからも子どもまんなか社会の実現に向けて、子育てしやすいまちを目指して取り組んでまいります。</p>	<p>—</p>

◇今後の台東区について

質問	回答	対応
<p>新型コロナウイルス感染症が落ち着き、多くの外国人観光客が台東区を訪れています。私は、観光客のニーズと観光地に住む人々の生活の質の向上に再度目を向けることが必要だと考えました。</p> <p>たとえば、町に落ちているごみや放置されたごみをなくすことが挙げられます。観光地によっては、食べ歩きによるごみが多く見受けられることがあります。そのため、町の様々な箇所に分別したごみ箱の設置が必要だと考えます。これにより、観光客はごみを捨てたいときに捨てられて、住民は町に不法に捨てられるごみへの不快感が減ると思います。</p> <p>住民にとっても住みやすく、観光客も快適に過ごせる場所づくりのための政策や、今考えていること等がありましたら、聞かせていただきたいです。</p>	<p>区では、観光客と区民の両者が快適に過ごせるよう、観光客の受入環境整備に取り組んでいます。たとえば、外国人観光客向けに、パンフレットなどを用いて、日本の基本的な観光マナーの啓発に努めています。</p> <p>ごみ箱の設置については、以前、道路上に設置していましたが、家庭ごみなどが捨てられてしまうなど、まちの景観が損なわれる状況となってしまったため、撤去した経緯があります。そのため、来街者に対しても、ごみは各自で持ち帰っていただくようお願いしています。なお、ポイ捨てなどのマナー啓発のため、マナー指導員による巡回指導などを行っています。</p> <p>今後も、区民と観光客の両者が快適に過ごせる持続可能な観光地であり続けるため、まちの美化に配慮しながら、観光客の受入環境整備に取り組んでまいります。</p>	<p>△</p>